



令和5年度 永久津中学校だより

6月号

校長 中窪 順一

地区中学校総合体育大会、全力で挑みました！

第74回西諸県地区中学校総合体育大会が行われました。陸上競技は6月3日（土）、4日（日）に、小林市総合運動公園陸上競技場で、北諸県地区と合同で行われました。共通女子200mでは、見事予選を突破し決勝に出場することができました。県大会出場は果たせませんでしたが、選手は一生懸命頑張ってくれました。バレーボール競技は6月10日（土）、11日（日）に南地区体育館と小林市民体育館で行われました。男女ともによく頑張り、一生懸命ボールを追う姿や必死につなごうとする姿、仲間と声を掛け合い励ましあう姿が見られました。結果として男子が3位に入賞し、見事県大会出場を果たすことができました。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、地区代表として頑張してほしいものです。応援していただいた保護者の皆様方、地域の皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。



プール掃除を行いました



6月5日（月）の午後からプール掃除を行いました。約1年ぶりの掃除でしたが、プールの中には笹の葉が大量にたまっていました。

全校生徒と教職員で一致団結して掃除に取り組みました。協力して取り組んだこともあり、予定時間よりもはやく掃除を終えることができました。

きれいになったプールに水を張り、元気いっぱい泳いでほしいものです。

さっそく、6月13日（火）から水泳の授業が始まりました。



「命の大切さを学ぶ教室」を実施しました



6月6日（火）に参観日を行いました。今回は授業参観の代わりに「命の大切さを学ぶ教室」を行い、講師の米村州弘さん（犯罪被害者遺族自助グループさくらの会代表）に講話をしていただきました。米村さんは、平成15年に娘さんが犯罪に巻き込まれて亡くなるという経験をされています。現在でも娘さんの死を完全に受け入れないでいますが、平成19年から自助グループの立ち上げに協力され、娘さんが生きていた証を少しでも残したいという思いから、各地で講演活動を行われています。米村さんの講話を通して、生徒だけではなく保護者の皆様方や教職員も「命の重さ」を実感することができました。生徒の感想の一部を紹介します。



とても辛いお話なのに、私たちのために話をしてくださり本当にありがとうございました。私たちにも身近なSNSが、自分の命だけではなく家族や友達などのたくさんの人の人生が変わってしまうことを知り、もっと自分を大切に生きようと思いました。また、SNSなどをこれから使うと思うので、「文字だけの世界で誰か分からない」ということを忘れずに正しく使えるようになりたいと思います。

私は初めて被害者遺族の方の話を生で聞きました。テレビで見たときはそこまで本気で聞いていませんでした。だけど、生で聞くと、自分の命はたくさんの人が関わっているということが分かり、友達や家族をもっと大切にしようと思いました。また、私は今思春期で親とあまり話していません。でも、必ずしも明日があるとは限らないこと、親や兄弟、友達などにまた会えるとは限らないということが分かりました。当たり前前の生活にもっと感謝をして過ごしていきたいです。



今後の行事予定



7月	
1日（土）	いのちの教育週間（～7日）
3日（月）	リフレッシュデー・ALT 来校
4日（火）	生徒集会
7日（金）	平和学習・漢字検定
9日（日）	PTAミニバレー大会
10日（月）	リフレッシュデー・県中総体激励式
12日（水）	人権学習・ALT 来校
13日（木）	私立高校説明会（3年）
14日（金）	～16日（日）県中総体（男子バレー）
17日（月）	海の日
18日（火）	英検 IBA
20日（木）	読み聞かせ・情報モラル教室
21日（金）	1学期前半終了・第2回弁当の日
22日（土）	夏季休業開始
27日（木）	県民総ぐるみ運動
31日（月）	登校日・リフレッシュデー